

概要

- 半島先端の景勝地とウニの産地として年間100万人の観光客を魅了しているが、観光客の滞在性が低く、飲食の収益力向上や多様な水産物の付加価値・商品化、自然体験型観光の創出などによる漁村経済の好循環化が遅れている。
- 多様な水産資源等を活用した、“水産加工・物販、食提供・体験機能等”を備えた漁港・漁村交流拠点施設を官民連携により整備し、交流人口の増加や所得の向上を図り、漁港・漁村の賑わい創出を目指す。
- 官民連携による中間蓄養や藻場造成支援、漁村体験観光機能等を備えた海業振興拠点形成の創出を目指す。



海業の取組概要



海業関連施設（伝統施設）
（ヤマシメ番屋・石蔵）



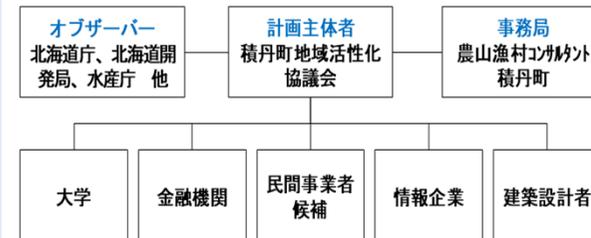
- 多様な水産資源の活用
 - ・加工、観光等の複合施設を整備し、多様な水産資源の商品化等による魅力の向上。
- 加工事業等の導入による通年での収益体制の確立
 - ・加工事業の誘導による冬期収益化と通年雇用体制の実現。
- 顧客の地域づくり参加やリピート率の向上
 - ・体験プログラムの提供による生産地域への関心向上や地域づくりへの参加及びリピート率の向上。
- 漁港背後集落の伝統施設の活用
 - ・漁業の歴史の伝承の場『ヤマシメ番屋・石蔵』を海業関連施設として整備活用。
- 中間蓄養や藻場造成支援、漁村体験観光機能等を官民連携により備えた海業振興拠点の形成

効果

- 通年雇用体制の実現
- 加工事業等による地元水産物の消費拡大
- 交流人口の創出による地域経済の活性化
- ブルーカーボン推進への寄与

協力体制

将来の事業化体制への移行を目指す（仮称）「積丹海業検討協議会」



※積丹町地域活性化協議会（構成：漁協、町を含む9団体）

スケジュール

- 令和7年度 調査検討
- 令和8年度 事業化モデル計画・整備計画
- 令和9年度 整備事業化